

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	県立赤穂特別支援学校 職・氏名 教諭 井上 和久	研究チーム名 (早期支援モデル作成チーム)
-----------------	-----------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号 ( 8 )

(1) 研究テーマ
「特別支援学校、保健センター、療育機関等が連携した早期支援モデル」の作成
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>5月17、18、19日 先行研究の調査及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査場所：兵庫県立赤穂特別支援学校</li> <li>・調査方法：先行文献の調査と検討</li> <li>・調査成果：本研究に係る先行文献 (① 渥美義賢 他 (2008)：発達障害のある子どもの早期からの総合支援システムに関する研究、研究報告書、発達障害支援グランドデザインの提案、国立特別支援教育総合研究所研究紀要プロジェクト研究報告書 ② 笹森洋樹 他 (2010)：発達障害のある子どもへの早期発見・早期支援の現状と課題、国立特別支援教育総合研究所紀要 ③ 松村勘由 他 (2009)：小・中学校における特別支援教育への理解と対応の充実に向けた特別支援学校のセンター的機能の取組、国立特別支援教育総合研究所研究紀要) を調査し、早期支援に係る現段階の調査研究の状態を理解した。</li> </ul> <p>5月27日 先行研究の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査場所：横浜市 パンフィコ横浜</li> <li>・調査方法：日本小児神経学会での調査</li> <li>・調査成果：医療・保健が連携した発達障害児の早期発見・早期支援の取組発表を聞くことができた。</li> </ul> <p>6月 3日 早期支援に係る連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所と人数：赤穂市保健センター (7人)</li> <li>・成果と課題：特別支援学校、保健センター、療育機関による早期支援の流れを検討したが、モデル案の作成は次回に行うこととした。</li> </ul> <p>7月20日 「関係機関が連携した、早期支援モデル」(案) の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：兵庫県立赤穂特別支援学校</li> <li>・成 果：特別支援学校、保健センター、療育機関、保育所及び幼稚園が連携した早期からの支援モデル図案が完成した。</li> </ul> <p>8月31日 「関係機関が連携した、早期支援モデル図」(案) への専門家の助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：兵庫教育大学</li> <li>・助言の内容：兵庫教育大学学校教育研究科准教授に早期からの支援モデル図について説明を行い、助言をいただいた。</li> </ul> <p>9月18日 学会での発表</p>

- ・実施場所：東京都 跡見学園大学
  - ・内 容：日本LD学会でのポスター発表
- ・成 果：「関係機関が連携した、早期支援モデル」について発表を行い、参加者からの意見を聞くことができた。

9月20日 早期支援に係る連絡会の開催

- ・実施場所と人数：赤穂市保健センターにて7人で実施
- ・成果と課題：兵庫教育大学での助言、日本LD学会発表での参加者からの意見を参考にして、関係機関が連携した早期からの支援モデル図の検討を行った。

11月10日「関係機関が連携した、早期支援モデル」の再構築

- ・実施場所：兵庫県立赤穂特別支援学校
- ・作成の内容・成果：特別支援学校、保健センター、療育機関、保育所及び幼稚園が連携した早期からの支援モデル図案の再構成を行った。

「今後の予定」

1月10日 早期支援に係る連絡会の開催

- ・実施場所と人数：赤穂市保健センターにて7人で実施予定
- ・内容：「関係機関が連携した、早期支援モデル」を検討し完成する